

「家族構造と家族機能による思春期患者に対する影響についての予備的研究」へのご協力のお願い

神奈川県立精神医療センター児童思春期科では、当院児童思春期病棟に入院された患者さんを対象に、電子カルテに記載された診療録を用い、患者さんの養育環境について調査する研究を実施しています。この研究は、児童思春期病棟における今後の医療の質の向上を目的としており、今後の治療方針の決定や支援に役立つと考えております。

研究課題名	家族構造と家族機能による思春期患者に対する影響についての予備的研究
研究の対象	2023年4月1日から2024年3月31日の期間、当院の思春期病棟を退院した方のうち、施設入所中もしくは里親利用中、また両親以外の親戚によって養育されていた方を除外し、さらに入院時に小児期逆境体験の「親との別離」を除いた9項目をひとつでも満たす両親家庭と満たさないひとり親家庭で生育している方を対象とします。
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	思春期病棟に入院する患者さんの養育環境による病状や予後の違いを明らかにすることを目的としており、そのために入院患者さんの生育歴や現病歴、家族歴等を調査します。ただし、患者さん個人が特定できないように匿名化して調査するため、個人情報が入外部に漏れることはありません。プライバシーには十分に配慮します。
研究期間	承認日～2025年11月
研究に使用する試料・情報の種類	電子カルテの診療録情報（年齢、性別、診断名、主訴、生育歴、現病歴など）
研究実施期間（研究組織）	主研究機関：神奈川県立精神医療センター 研究責任者：坂本 和海
外部への試料・情報の提供とその方法	外部への試料・情報の提供はいたしません。
情報の管理について責任を有する者・所属	坂本和海（神奈川県立精神医療センター）

本研究はヘルシンキ宣言（2013年10月WMAフォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2022年4月1日施行）に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報が入外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

本研究は神奈川県立精神医療センター児童思春期科内で実施しております。研究者は企業等から独立し

て計画を立案し実施いたしますので、開示すべき利益相反はありません。本研究の対象となる患者さんのご親族で、患者さんの情報は利用しないしてほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。研究データから情報を削除いたします。その場合も診療において不利益を被ることはございません。尚、調査と検討が進み統計的処理が実施、公表された場合には、情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口は神奈川県立精神医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先： 研究責任者 坂本 和海
地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立精神医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel : 045-822-0241